

# 水産資源委託調査

植木 龍夫・中川 賢三・黄金崎栄一・涌坪 敏明

## 発表誌名

昭和61年度沿岸重要資源委託調査結果報告書

## 抄 録

### 1. 漁 況

東津軽郡平館村における昭和61年1～12月の対象魚種別の漁獲状況は、以下のとおりである。

- (1) マイワシ：漁獲量は1,262トン。昨年の70%にすぎない。
- (2) カタクチイワシ：漁獲量は90トン。最近7ケ年で最も多い漁であった。
- (3) ウルメイワシ：漁獲量は2トン。最近7ケ年で初めて水揚げが記録された。
- (4) マサバ：漁獲量は66トン。最近7ケ年で最も多かった。
- (5) スルメイカ：漁獲量は11トン。昨年の¼の水揚げであった。
- (6) ヤリイカ：日本海区水産研究所委託分はヤリイカを対象魚種とし、調査地点は日本海側4港（小泊、下前、鯨ヶ所、北金ヶ沢）で行うことにした。昭和61年4月から昭和62年2月までの漁獲量は354トンであった。

### 2. 魚 体 調 査

東津軽郡平館村の小型定置網で漁獲されたマイワシ、マサバと前述の日本海側4港の底建網等で漁獲されたヤリイカを対象に調査した。

- (1) マイワシは5月7日から12月24日までに7回行った。  
体長は11.5～20.5cmの間に見られ、体重は20～79gの間に見られた。  
肥度度は6.6～14.6の範囲にあり、年齢は1～5歳となっていた。
- (2) マサバは11月13日に調査を行い、尾叉長は23.0～31.0cmに見られた。全て雌であった。
- (3) ヤリイカは4月10日から昭和62年2月18日まで11回の調査を行った。  
外套長は14～40cmの間に見られ、体重は50～470gの間に見られた。  
雌の全殖腺重量は0.7～27.7の範囲に見られ、最小は12月に、最大は5月に見られた。